

1 題材名 すききらいなくたべよう (2) - キ

2 題材設定の理由

(1) 題材観

給食開始から2か月が過ぎ、1年生の児童は、給食のいろいろなきまりを学びながら学校での食事を楽しんでいる。しかし児童の食事の様子を見ていると、自分の嗜好にあったものだけを選んで食べている傾向が強い。社会的にも食生活の変化と生活リズムの乱れが見られる現在、生活習慣病の低年齢化などの問題もおこってきている。このような状況の中で、毎日の食事に関心を持ち、栄養についての知識を身に付け、健康に気を付けて生活する力を育むことが学校教育にも求められている。

そこで、栄養バランスのとれている給食の大切さを知り、心身共に健康な体をつくるために好き嫌いせず何でも食べようとする態度を育てたいと考え本題材を設定した。

(2) 児童の実態

実態調査： 6月4日 男15 女12 計27人

1 給食は好きですか。	はい 27人	いいえ 0人
2 残さず食べていますか。		
いつも残さない	3人	時々残す 20人
いつも残す	4人	
3 どうして残してしまうのですか。		
嫌いな物がある	8人	時間が足りない 8人
量が多い	8人	
4 嫌いな食べ物はなんですか。(複数回答)		
ピーマン	5人	きのこ 5人
ねぎ	2人	キャベツ 2人
5 嫌いな物が出た時はどうしますか。		
我慢して全部食べる	7人	少しだけ食べる 15人
食べない	1人	嫌いな物はない 4人

アンケートの結果からほとんどの児童は好き嫌いがあり、特に野菜嫌いな児童が多いことが分かる。しかし嫌いなものでもがんばって食べようとする態度も見られる。

(3) 指導観

導入では、本時の活動への関心をもたせるために、昨日食べたばかりの給食を思い出させたり、架空の人物「ふらふらくん」を登場させたりする。そして、「ふらふらくん」が元気の原因や元気になるためにはどうしたらよいかを考えさせる活動を通して、食生活の大切さに迫っていく。また、活動の後半では、学校栄養職員からの話を聞く場面を設定して、効果的な栄養素のとり方について理解させたい。さらに、児童自らが栄養素に扮して役割演技をする活動を取り入れることで知識を定着させたいと考えている。このように、学校栄養職員や友だちとのかかわりを通して、好き嫌いなく食べて健康で丈夫な体をつくらうとする意欲が高められるよう支援していきたい。

3 目標

いろいろな食物をバランスよく食べると丈夫な体になることを知り、好き嫌いせず何でも食べようとする意欲をもつことができる。

4 食育の視点

「ふらふらくん」が元気になる方法を考える活動を通して、栄養のバランスのとれた食事の大切さが分かる。
(食事の重要性)

5 評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
好き嫌いしないで自ら進んで何でも食べようとしている。	元気に生活するためには、どうすればよいのか自分の生活と関わらせて考えている。	自分が実践していこうとすることをめあてに書き、実践していくことができる。	健康に過ごすためには、バランスのとれた食事が大切であることが分かる。

6 活動の展開

準備・資料

ペープサート，ワークシート，給食の写真，食物のはたらきを表した図，絵本
身長と体重の伸びを表した絵グラフ

食 食育の視点に迫る手立て

	活 動 内 容	・ 支 援 評 価
事前の活動	<p>日々の生活の中で，好き嫌いなく食べている児童を紹介する。</p> <p>親子ふれあい給食を行う。</p> <p>給食に関するアンケートを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完食シールによって意欲付けをする。 ・ 栄養についての話を保護者に行い，「好き嫌いしないで食べよう。」という給食での方針を理解してもらうようにする。 ・ アンケート結果から普段の給食の実態を把握し，絵グラフにしておく。
本時の活動	<p>導入・気付く</p> <p>1 昨日の給食について話し合う。</p> <p>2 ペープサートの劇を見て，本時の課題をつかむ。 (1) 「ふらふらくん」はどんな人だったか話し合う。 ・ 元気がない。 ・ ふらふらする。 ・ ぼうっとして勉強に集中できない。 ・ すぐに疲れちゃう。 (2) 課題を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>どうすればふらふらくんがげんきになれるかな。</p> </div> <p>展開・追究する</p> <p>3 どうして「ふらふらくん」が元気がないのか話し合う。 ・ 野菜を食べないから。 ・ 肉しか食べないから。 ・ お菓子ばかり食べているから。 ・ 牛乳を飲まないから。 ・ 何でもバランスよく食べないから。 ・ 甘い飲み物ばかり飲んでいるから。 ・ 好き嫌いしているから。</p> <p>4 「ふらふらくん」が元気になるためには，どんなことに気が付いたらよいか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨日の給食を実際に見せ，好き嫌いせず食べられたかを問うことによって，学習への関心をもたせる。 ・ 身近な話の内容をペープサートの劇にして行うことにより興味や関心をもって視聴できるようにし，本時の課題へとつなげていく。 ・ 児童に理解しやすくするために，GTが「ふらふらくん」役に，担任が「ぺこちゃん」役になり，朝ごはんはたくさん食べてきたのにふらふらして勉強に集中できないという設定で話を進めていく。 ・ 食生活に関する意見を多く取り上げ，「ふらふらくん」の食べ方に偏りがあることに気付くようにする。 ・ 運動や睡眠など栄養面でない意見がでた時には，「ふらふらくん」役のGTは，十分に睡眠をとり，運動もよくしていると答える場面を準備しておき，話題の中心が栄養面から離れないようにする。 ・ 好き嫌いしないで何でも食べることが大切であることに気付くように助言する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜を食べる。 ・牛乳を飲む。 ・何でも食べる。 ・食べ過ぎない。 ・バランスよく食べる。 ・お菓子やジュースの量を少なくする。 <p>5 学校栄養職員から自分たちが考えられなかった方法を聞く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな食べ物を組み合わせてとることで、さらに元気になる。 ・成長期（今の時期）にバランスよく食べることが大事である。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いが栄養面からはずれている場合には、栄養面について考えるように助言して修正させる。 ・友達の考えを聞いて、自分が気付かなかった元気になるための食事のとり方が分かるようにする。 <p>食 視覚的な資料を提示することにより、栄養素が助け合っ て栄養価が上がるのが分かるように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GTは、1つの食物だけとっても栄養の効果は少なく、どの栄養素もとることによって、栄養価が上がることを押さえて話をする。 ・GTは、成長期であるこの時期にバランスよく栄養をとることが大事であることを押さえて話をする。
まとめ・決定する	<p>6 自分たちはこれからどんなことに気を付けて食事をとるか、自分のめあてを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜も食べるよ。 ・牛乳を少しずつ飲むよ。 ・嫌いなものでも半分は、食べるよ。 ・何でもバランスよく食べるよ。 	<p>食 食事に関するめあてを決めるにあたっては、内容を具体的に書くこと、自分の課題にあったものであること、実現可能なものであることなどを助言することによって、実践にむけての意識付けが図れるように支援する。</p> <p>評 好き嫌いせずに食べようとする気持ちを書くことができたか。（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気になった「ふらふらくん」を登場させ、「ふらふらくん」も好き嫌いせずに食べることの大切さを学び、元気になろうとしていることを知らせ、実践への意欲を高められるようにする。
事後の活動	<p>「たべようがんばりカード」に記録する。</p> <p>「たべようがんばりカード」を家庭に持ち帰り、家庭でも実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を生かして、がんばりカードを有効に活用することで好き嫌いせずに何でも食べるようにする。 ・学年便りで学習内容を知らせ、家庭に協力を得られるようにする。

7 特別活動の他の内容や他教科との関連

学級活動 「きゅうしょくにありがとう」

道徳 「さやかさんのおにぎりづくり」「おとうさんのカレーライス」

国語科 「ものの名まえ」